

全裸サンバ祭りがある街。男子たちはおちんちんを見せつけながら全裸サンバ女子を眺める。

8月、とある海辺の街の話。この街の名物である「全裸サンバ祭り」の前夜。10歳以上の少女たちが全裸でサンバを踊るこの伝統は、街の名物とされ、少女たちには羞恥と緊張を、観客には興奮をもたらす夏の風物詩だった。

街の公園では明日全裸を晒すことになる少女たちが集まり、明日についての不安を話し合っている。さらに今年からは「射精専用スペース」というとんでもないゾーンが新設され、抽選で選ばれた約100人の男性だけが入れることになった。観客の男性たちはそこでのみおちんちんを出すことが許されて、全裸サンバ女子をおかずにオナニーを行うのである。

18歳の和田朋子は、公園のベンチに座り、膝を抱えて震えていた。「明日、裸で踊るなんて...考えただけで吐きそう...」と呟き、声が詰まる。クラスメイトの男子たちの好奇の視線や、「明日、お前のおっぱいばっちり見てやるからな!」という心無い言葉が頭をよぎる。「男子たちに裸を見られたら...もう生きていけない...」と声を震わせ、肩が小さく揺れる。

隣に座る19歳の山形梅歌が、ウェーブのかかった長い髪を指でいじりながら、顔を青ざめる。「朋子、わかる...私も怖い...」と声を震わせる。「男子たち、本当気持ち悪いよね...マジで...射精専用スペースって...意味がわからない」と呟き、体が震える。「男子たちが...そこでおちんちん出して...私たちの裸見て...気持ち悪いし、怖い...」と顔を覆う。

20歳の山田弥奈と21歳の丸山華は、芝生に座り、互いに肩を寄せ合っていた。「男子

たち、じろじろ見るよね...マジで悔しい...」  
と弥奈が声を詰まらせる。華が震える手で  
弥奈の手を握り、「弥奈、わかる...私、昨日  
から怖くて怖くて...」と涙目で呟く。「男子た  
ち、今日学校で今からこんなになっちゃっ  
たって言いながら股間膨らませてた...」と  
弥奈が呟き、華が「私たちの裸を見て勃起  
されるの、最悪すぎ...」と涙をこぼす。

17歳の手島萌は、ベンチの端で震えてい  
た。「男子たちに裸見られるなんて絶対無  
理...」と声を詰まらせる。朋子が「萌ちゃ  
ん、わかる...私も考えただけで吐きそう...」  
と手を握る。

中学生のグループは、芝生に円になって座  
り、互いに手を握り合っていた。13歳の佐  
藤葵が「明日、裸で踊るなんて...恥ずかし  
い...」と声を詰まらせ、涙がこぼれる。14歳  
の小林美月が「男子たち、めっちゃ楽しみ  
にしてた...気持ち悪いよ...」と涙をこぼす。

別の子たちも「本当に気持ち悪い…」と口々につぶやく。

小学生たちはブランコの近くに集まっていた。11歳の田中葵が「ママに伝統だからって言われたけど…恥ずかしい…」と泣き、10歳の小野田結衣が「みんな見るんだよね…嫌だ…」と涙をこぼす。「実は最近毛が生えてきて…見られるなんて…」と葵が心の中で叫び、結衣が「ちょっと生えてきて…恥ずかしい…」と涙が地面に滴る。互いの手を握り、「明日、どうしよう…」と震える声で囁き合う。

別の公園では、男子たちが集まり、祭りを前に興奮を抑えきれなかった。18歳の佐藤翔太はベンチに座り、ニヤリと笑う。「明日の女子たちの裸見れるのやばすぎ！しかも見ながらシコれるんだぜ！朋子ちゃんの裸、絶対見るぞ！ちっちゃいかわいいおっぱい、めっちゃ楽しみ！」と叫び、ズボンの上から膨らんだ股間を押さえる。「射精専用

スペースで近くで見れる！勃起ちんちん見せつけてやるわ！」と拳を握り、興奮で目が輝く。

18歳の田中健太は芝生に立ち「梅歌ちゃんの裸早く見たい！あいつおしりめちゃくちゃでかいんだよな！揺れるおしり、絶対エロい！」と笑い、ズボンが膨らむ。「梅歌の裸、絶対やばいぜ！」とニヤニヤし、興奮で息が荒くなる。

19歳の山本悠斗は地面に座り「弥奈と華のおっぱい、でかいよな！」と笑い、ズボンの膨らみを押さえる。「考えるだけでおちんちん硬くなる！萌ちゃんの細い体も見たい！」と息を荒げる。

12歳の佐々木拓海と小林悠真はサッカーボールを蹴りながら興奮していた。「女子のちよつと膨らんだおっぱい、かわいいよな！」と笑い、ズボンが少し膨らむ。「ヤバいもう勃起止まらないわ！」と顔を赤らめる。悠真が「弥奈さんたちの大きいおっぱい

もやばい！」と叫び、拳を合わせる。「小学生の裸も見たい！」と拓海が笑い、ボールを強く蹴る。二人の目はキラキラと輝き、興奮で体が熱くなる。「明日、絶対やばいぜ！」と叫び、笑い声が公園に響く。

そして祭り当日、街はドラムとホイッスルのリズムで熱狂に包まれた。サンバ隊がメイン通りに現れ、遠くから少女たちの全裸が近づいてくる。